

立地適正化計画策定に向けた 都市課題の分析



みどり市 都市計画課

1. みどり市の昼夜間人口比と昼間人口 (2000年から10年間隔)

昼夜間人口比について、青色が多いことから夜間人口の方が多いことが分かる

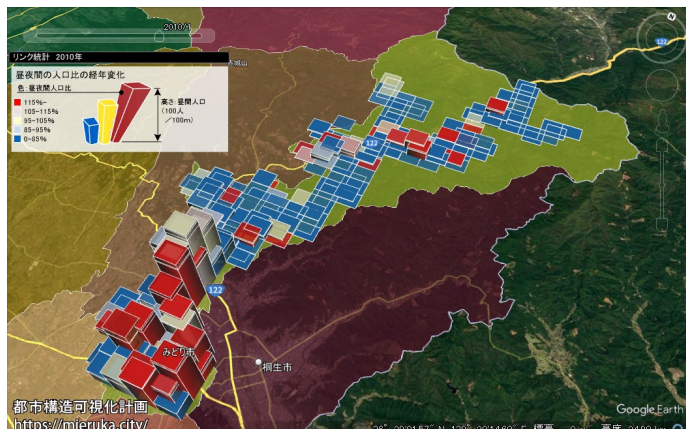


図1. みどり市の昼夜間人口比と昼間人口2000年
補注：都市構造可視化計画、Google Earthを使用

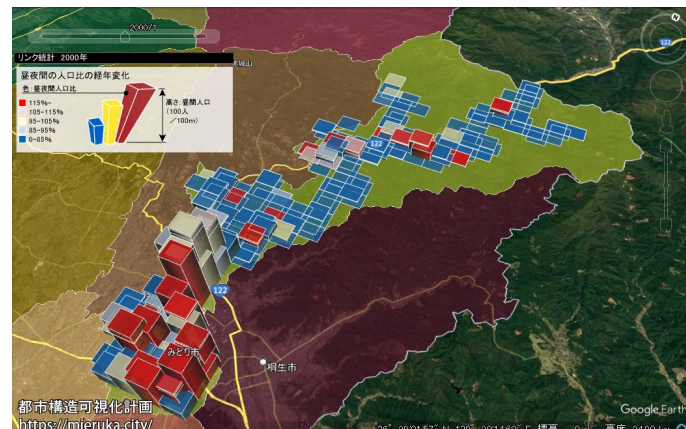


図2. みどり市の昼夜間人口比と昼間人口2010年
補注：都市構造可視化計画、Google Earthを使用

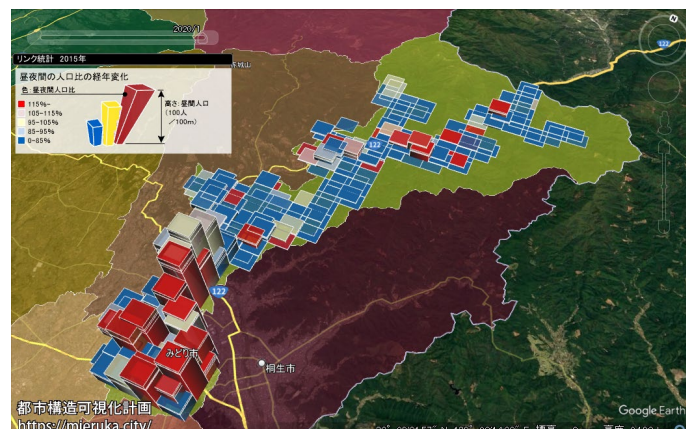


図3. みどり市の昼夜間人口比と昼間人口2020年
補注：都市構造可視化計画、Google Earthを使用

2. みどり市の人口分布図（夜間人口） （2000年から10年間隔）

2000年から20年間でみどり市南部地域に人口が集中している

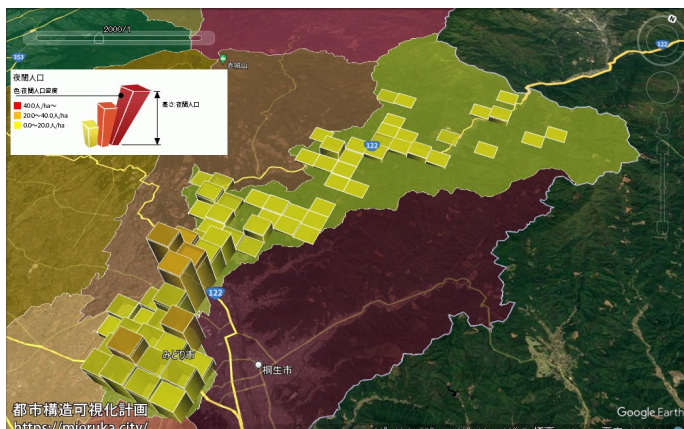


図1. みどり市の人口分布図（夜間人口）2000年
補注：都市構造可視化計画、Google Earthを使用

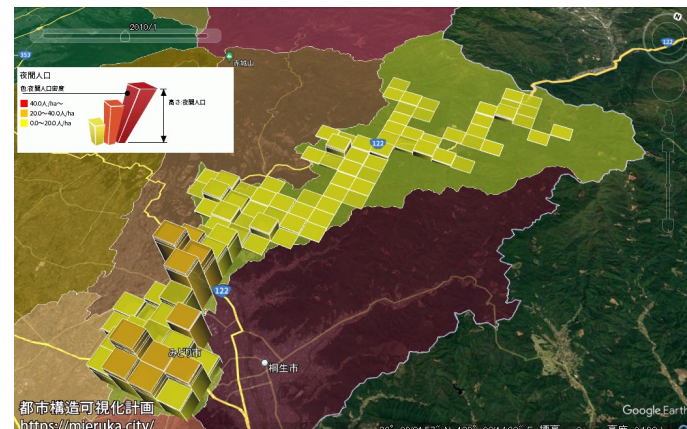


図2. みどり市の人口分布図（夜間人口）2010年
補注：都市構造可視化計画、Google Earthを使用

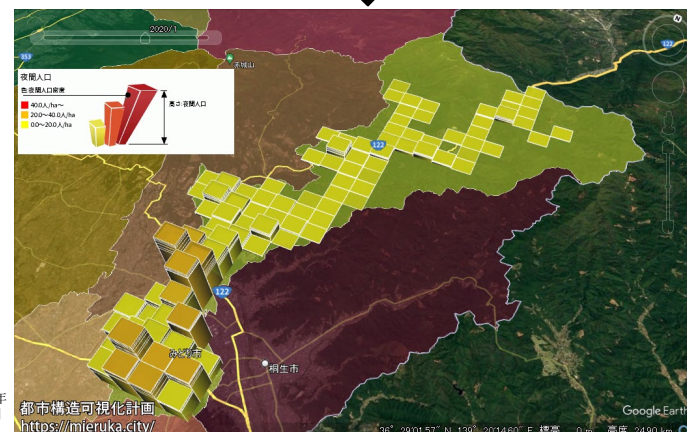


図3. みどり市の人口分布図（夜間人口）2020年
補注：都市構造可視化計画、Google Earthを使用

3. みどり市の夜間人口2050年

2050年のみどり市の人口も南部地域に集中している。

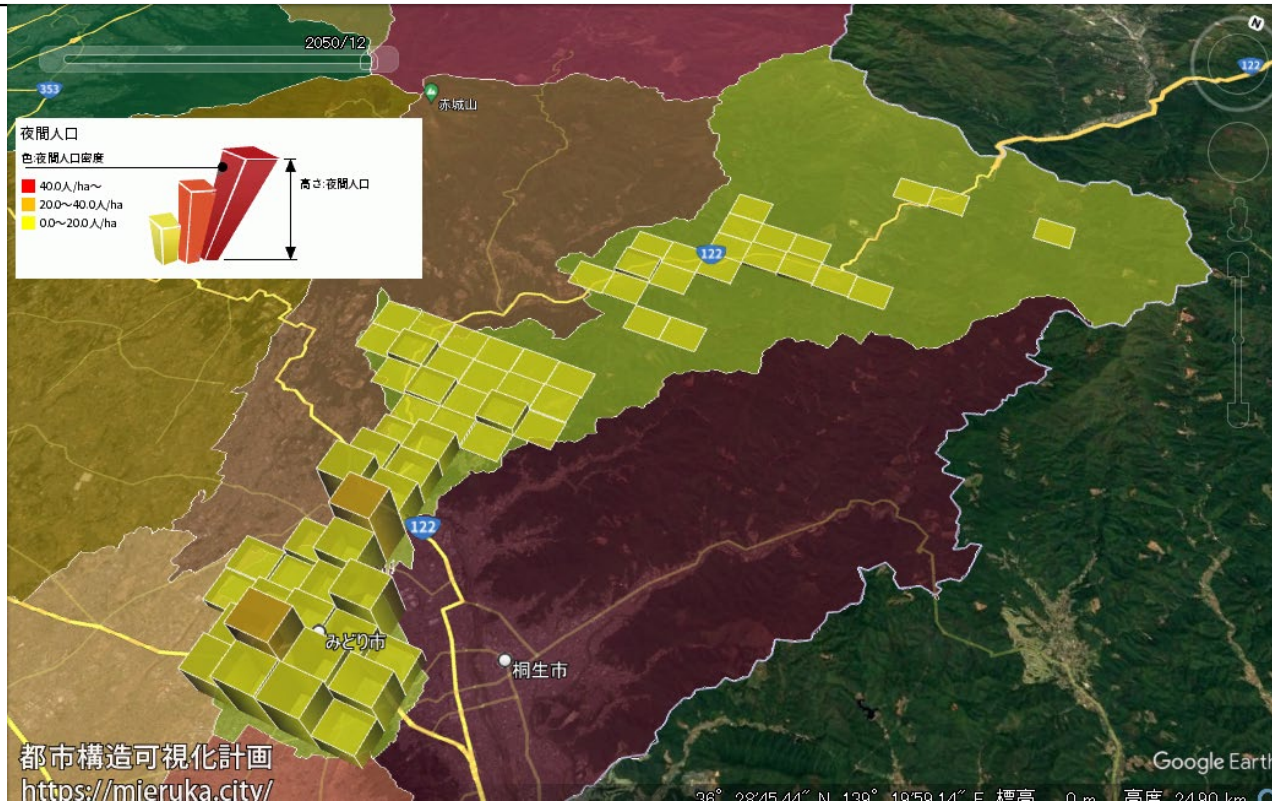


図1. みどり市の夜間人口2050年
補注: 都市構造可視化計画、Google Earthを使用

4. みどり市を含めた周辺地域の昼夜間人口比と昼間人口 (2000年から10年間隔)

桐生市南部および伊勢崎市太田市に昼間人口が集中。
そこを中心に周辺地域がベッドタウンになっている傾向。みどり市は全体的にベッドタウン。

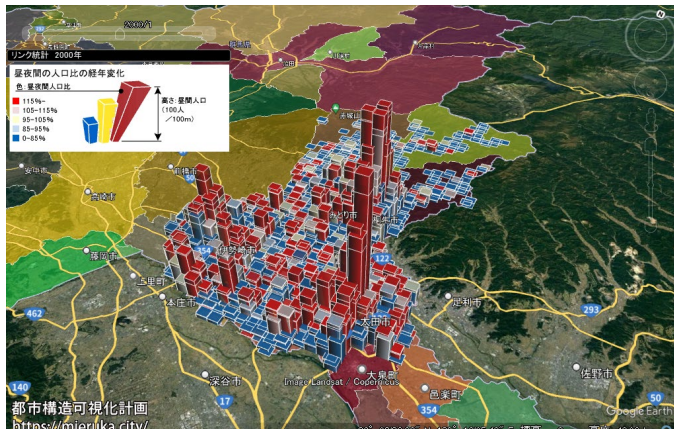


図1. みどり市を含めた周辺地域の昼夜間人口比と昼間人口
補注：都市構造可視化計画、Image Landsat/copernicus、Google Earthを使用

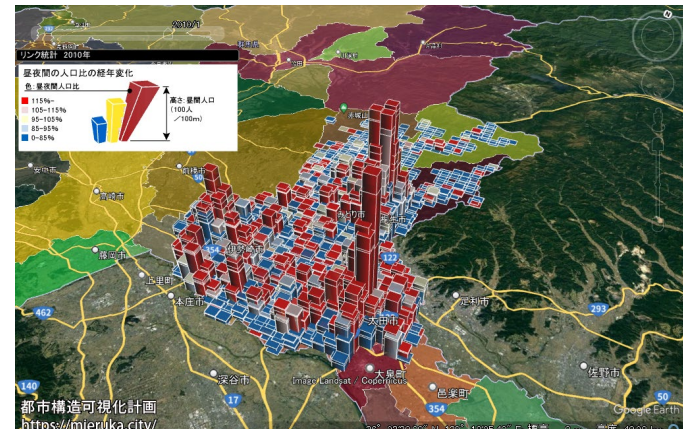


図2. みどり市を含めた周辺地域の昼夜間人口比と昼間人口
補注：都市構造可視化計画、Image Landsat/copernicus、Google Earthを使用

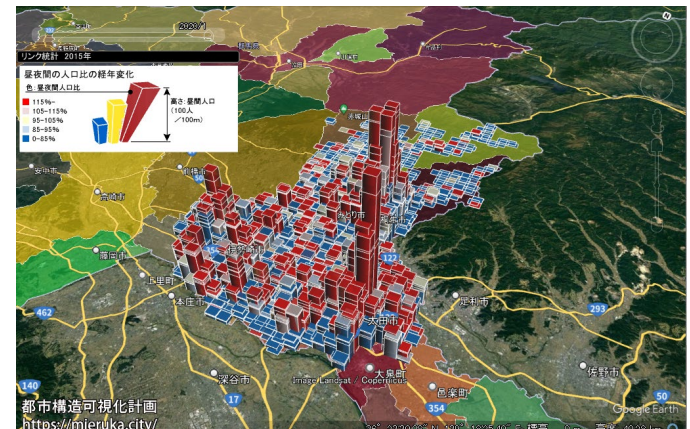


図3. みどり市を含めた周辺地域の昼夜間人口比と昼間人口
補注：都市構造可視化計画、Image Landsat/copernicus、Google Earthを使用

5. みどり市×公共交通利用圏と人口分布の関係

公共交通利用圏と人口密集地が重なっている。

データではちょうど重なっていて公共交通が整っているようにも感じるけど、実際に多くの住民が利用しているようには感じない。

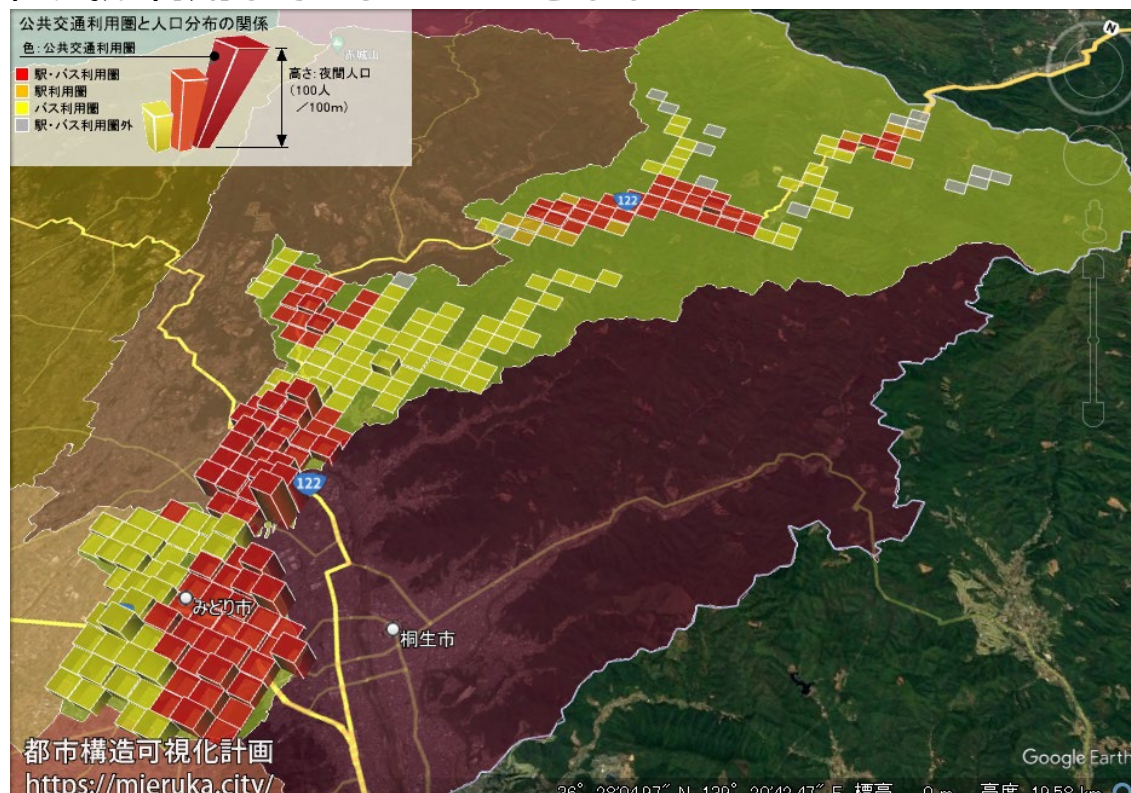


図1. みどり市×公共交通利用圏と人口分布の関係
補注：都市構造可視化計画、Google Earthを使用

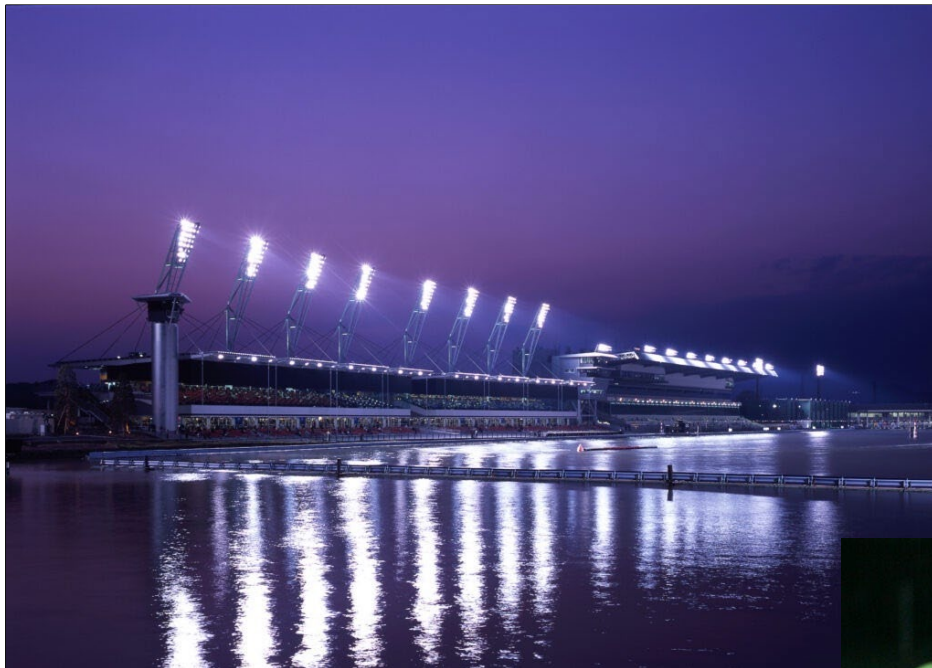
6.まとめ

みどり市の特徴からの推察

太田市や桐生市などの隣接する市に勤める市民の割合が多いみどり市は、ベッドタウンと化しているといえる。南部地域には働く世代が多く居住しているだけでなく、公共交通利用圏も重なっており、データからは公共交通が整備されている地域に感じる。

ただ、実際にその地域でも公共交通機関より、自家用車を使用する住民を多く見かける。

今後は様々な計画を策定するにあたっては、公共交通の利用圏だけではなく、公共交通の利用割合をデータ比較していかなくてはならないのではと感じた。



 **BOAT RACE 桐生**

